

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和2年度 第1期（オンライン研修）

「復旧・復興」コース

【各講義の内容と学習目標】

受講期間 オンデマンド：10月5日（月）～10月18日（日）

リアルタイム：10月22日（木）午前

日程	日程	単元の概要	講師名	学習目標
オンライン講義	1	復旧・復興総論	1 中林 一樹 (明治大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興の理念と構成を説明できる。 ・災害復興の事例に学ぶ復旧・復興のプロセスと法制度を説明できる。 ・事前復興の意義と可能性を説明できる。
	2	公共基盤の復旧 (基盤復興Ⅰ)	2 中林 一樹 (明治大学) 大嶽 幸正 (内閣府)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共基盤の被災の復旧の概要と事例を説明できる。 ・公共基盤の復旧プロセスと対策計画を説明できる。 ・公共基盤の復旧・復興事業制度とその概要を説明できる。
	3	仮設住宅 (生活復興Ⅰ)	3-1 阿部 嘉信 (内閣府) 3-2 小路永 守 (熊本県) 3-3 東 修 (熊本県) 3-4 細貝 和司 (新潟県スポーツ協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅の供与の目的と制度概要を説明できる。 ・建設型応急住宅の仕組みと業務の概要を説明できる。 ・賃貸型応急住宅（みなし仮設住宅）の仕組みと業務の概要を説明できる。 ・応急仮設住宅の管理運営の取り組みと課題を説明できる。
	4	コミュニティ再生 (社会復興)	4 稻垣 文彦 (中越防災安全推進機構)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の再生や活性化の意義が説明できる。 ・地域社会の再生の取り組みのプロセスが説明できる。 ・地域社会の再生の事例や制度（復興基金の使い方等）を説明できる。
	5	市街地の復興まちづくり (基盤復興Ⅱ)	5 畠 文隆 (兵庫県西宮市)	<ul style="list-style-type: none"> ・被災市街地の復興とその意義を説明できる。 ・被災市街地の復興まちづくりにおける地域住民の参加の意義と課題を説明できる。 ・地域住民の意向確認など復興モニタリングの重要性と事前復興の可能性を説明できる。
	6	住まいの再建 (生活復興Ⅱ)	6 太田 亘 (UR都市機構)	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者による住まいの再建の理念と支援の概要を説明できる。 ・被災住宅・被災マンションの再建プロセスを説明できる。 ・災害公営住宅の意義と留意点について説明できる。
	7	地域産業の復興と雇用確保 (産業復興)	7 藤田 千晴 (東京都中小企業診断士協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の被災事例とその課題を説明できる。 ・地域産業復興の視点と支援のあり方を説明できる。 ・被災地における地域産業の復興事例と事業手法を説明できる。
リアルタイム演習	8	復旧・復興演習 (復旧・復興対策の事前準備)	8 中林 一樹 (明治大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・復興体制の構築を説明できる。 ・復旧・復興のプロセスを説明できる。 ・復興計画の策定過程における住民・被災者参加の方法・仕組みを提案できる。
	9	全体討論	9 中林 一樹 (明治大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を活かす「事前復興対策」の取り組み方を学ぶ。